

平成30年度後期「学校評価・保護者アンケート」の集計結果 及び考察について

新春の候、厳しい寒さが続きますが、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、12月に実施いたしました「学校評価（保護者アンケート）」の結果につきまして、お知らせいたします。良かった点は、今後いっそう伸ばしていくとともに、問題点や課題につきましては全職員で共通理解を図り、一つ一つ良い方向へ改善していく所存です。

今後とも、本校教育の充実・発展のため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 保護者アンケート実施対象：PTA数で実施	有効	回答数：356/364
児童アンケート実施対象 児童数で実施	有効	回答数：480/486
教職員アンケート実施対象	有効	回答数：30

2 集計結果：グラフは百分率（％）で表しています。

3 その他

○学校評価の結果は、第一小学校ホームページでもご覧になれます。

「<http://www.shimabara.jp/dai1-sho/index/>」

「校長室から」→「学校評価の結果」をクリック！

○今回は、記述欄に記名をされた方のご質問やご要望に、学校側の回答をのせていますので、あわせてご覧ください。

平成30年度 後期 学校評価書(島原市立第一小学校)その①

■ そう思う ■ 大体そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

① 教育目標

1 学校教育目標を理解し、その具現化を十分に図っている

日々の学校生活の中で、「やさしい子、かしこい子、たくましい子」を意識させ、指導し、振り返らせています。今年度は、目標をわかりやすく、あいさつ日本一、学力日本一、健康日本一と児童に示してきましたので、意識して行動できる児童が増えていると思います。

② 学校の雰囲気

2 学校は活気があり、笑顔のある明るく充実した雰囲気である

児童の生き生きとした表情や姿は、周囲を活気付けると考えます。毎朝、どの教室からも元気のよい挨拶や歌声が響いてきて、1日が気持ちよくスタートできています。ただ、「あまりそう思わない」と思う児童・保護者がいることを忘れてはいけないと思います。

③ 分かる授業

3 指導内容や教材を工夫した分かりやすい授業を展開している

児童が学びたいと思うような授業を目指しています。同学年の教員同士で、指導法を話し合ったり、資料を共有したりすることで、授業を改善しようと教員は努めています。校内での職員の研修は、算数科に絞り、お互いの授業力を高めています。

④ 読書活動

4 朝の読書・目標冊数設定などを通して、読書活動の充実を図っている

保護者の評価が8割を下回った唯一の項目です。学校では、読書タイムやすきま時間の読書に取り組まさせています。秋の読書月間では、たくさんの本に親しむ児童がいました。家庭での10分読書に取り組んでいるクラスもあります。

⑤ 家庭学習の習慣

5 家庭と連携して、家庭学習の習慣化の定着を図っている

家庭学習の習慣化を目指して、取り組んできた成果が、前期からの伸びにつながっています。1学期中に全児童に対して、家庭学習の手引きを配付し、決められた宿題以外にも、自主学習を頑張る児童も増えてきています。

⑥ 個に応じた指導

6 個に応じた学習指導の工夫を図っている

今年度は3・5・6年生の算数科において、2人体制での授業や少人数指導等を行っています。3年生では、習熟度別学習にも取り組み、学力向上の効果が出ています。段階に応じたプリントの準備や個人指導も行っています。

⑦ あいさつ

7 気持ちのよいあいさつの指導の徹底を図っている

あいさつ日本一を目指し、全校児童で「自分からあいさつ」、高学年で「ワンストップあいさつ」に取り組み、改善されつつあります。保護者の評価が8割を超えたのは、ここ数年では初めてです。ただ、まだ十分ではありませんので、今後も指導を継続します。

⑧ はきものの整とん

8 はきものの整とんの指導の徹底を図っている

靴箱の靴やシューズは、ほとんどのクラスできちんと履か揃えられて並べてあります。ただ、トイレ等、たくさん児童が一度に使う場所はまだまだのようです。児童同士でチェックし合うなど、改善を図っています。

⑨ 返事

9 はっきりとした返事をするよう指導の徹底を図っている

毎朝の健康観察で「はい」と大きなはっきりした声で返事をするので、1日を気持ちよくスタートさせています。心が元気の児童は、返事もはっきりできる傾向にあると感じます。自分はしたつもりでも、相手に届いていない時は、返事のやり直しをさせています。

⑩ 規範意識

10 「島一小よい子のきまり」をもとに、規範意識の醸成を図っている

低学年のうちからきまりを守ることの大切さ、きまりを守ることがみんなが楽しく生活できることにつながっていることを話しています。高学年では、自分で判断して正しい行動をすることの大切さを指導しています。学期始めに「よい子のきまり」を確認しています。

平成30年度 学校評価（保護者アンケート記述部）

平成30年12月実施

○公開・回答に該当する記述（記名あり）

- 担任の先生には、日頃より相談しやすい環境をつくっていただきありがとうございます。また、丁寧で迅速な対応をしていただき、たいへん心強く思います。校長先生や先生方におかれましても、朝早くから遅い時間帯まで、子ども達の安全のためありがとうございます。第一小学校に登校させていただけることを娘、親共にたいへん感謝しております。
- 毎日のように、事件や事故などテレビやラジオから見聞きする中で、毎朝の校長先生、地域の方の見守っていただいている様子にありがたいなと思っています。無関心ではなく、もっともっと声をかけ合えるような地域でありたいと思います。
- 何も困っていることはありませんが、もし困ったり、悩み事があってもすぐに相談できるような先生方ばかりなので、とても安心して子どもを通わせることができます。心から感謝しています。
- 登下校時、楽しそうに登下校している姿はほほえましくもありますが、危険な場面も見かけます。このことは、学校だけでなく、親への指導も必要なのではないかなと感じます。もう少し、親も子どものことを知るべきなのではないかと思っています。
- 担任の先生には、子ども達をあたたくご指導していただき、感謝を一言申し上げます。いつもありがとうございます。子どもが楽しく学校生活を送っており、毎回、通信で詳しく学級の様子を教えていただき、親としては安心して登校させることができます。先生方のご指導のおかげだと思います。
- ①授業参観での授業の始めと終わりに起立をせずに、挨拶をしていることに違和感を感じました。他の学校の保護者に尋ねると、きっと今はどこでもそうなのではないかと。起立・着席の時の音がうるさい？とか、もしかして保護者からの声か？何かしらの理由があってのことなのでしょう。1時間立ちっぱなしで（時には座られもしますが）子どものために授業をしてくださる、また、その授業のために準備をしてくださる先生に対して、起立をして挨拶はすべきではないかと感じます。社会に出て（今は何でもパワハラなどと言いますが）先輩が来られたら、立って挨拶は、お互い気持ちの良いものですし、当たり前のことのような気がするのですが。考え方が古いのでしょうか。子ども達にとっても、「起立」すると「さあ、始まるぞ」と気合いが入るといふか、休み時間とのけじめが付いて、良いのではないかと思います。
- ②授業参観後の学級部会に出席するにあたり、部会終了後に、保護者と帰宅する低学年の児童は図書室などで勉強して待つことができます。しかしながら、3年生以上は待機する場所がないため、児童だけを1人で帰宅させて、自宅などで1人の留守番をさせることが心配な面があります。学級部会終了後、保護者と共に帰宅できる方法がありましたら、お考えいただけたらと思います。
- ③見守り児童システムですが、現在、2年生までの利用となっております。知らない人からの声かけ発生防止や交通安全、児童の下校時間の把握のため、6年生まで拡大して、利用できればと思います。
- ④毎年、学年末の授業参観後の学級部会で、次年度の役員・評議員決めをしていますが、クラス編成のある学年だと新しいクラスでの親しい保護者とならしてもいいかなと考えられるのですが、まだ、クラスも誰となるか分からない時点で決めるので、抵抗があります。それと、次年度の役員決め（仮）の時に、「なりたい。」と手を挙げていなくて、新クラス決定後の夜の部会での役員決めに参加して、「したいです。」と手を挙げて、「あなたは仮決めの時に手を挙げてなかったでしょ。」と、問題になることも、今まで多々ありました。先に決めようとするのではなく、新クラス決定後に話し合いで決めるのがいいと思います。先生方は、（仮）で意見を聞いておくのが安心と思われるかもですが、夜の部会時にでも、必ず決まりますので、仮役員決めをする意味がわかりません。クラス編成がなく、持ち上がりのクラスは、今まで通りの最後の授業参観後でも良いとは思いますが、検討してください。
- ⑤来客用トイレを使ったとき、床の水が十分に流されておらず、歩くたびに水がはねていました。清掃の仕方を再度、指導されてください。

【学校からの回答】

- ①→ 授業の始まりと終わりには、それぞれの学級担任の判断で、起立をさせたり、着席のままだったりとしていました。これまでは、学校の方で統一しているということはありませんでした。今回、全クラスを確認すると、低学年の数クラスは着席のまま号令をかけていますが、他のクラスは、授業の始まりと終わりには起立をして号令をかけています。職員で話し合い、卒業式に向けて、低学年でも、授業の始まりと終わりには、起立してから号令をかけることにします。
- ②→ 低学年の場合は、自宅に1人で留守番させるのは心配と考えられる保護者もいると思います。図書室に残して職員で様子を見ています。現在、1・2年生のみを学級部会の時には、図書室で学習させていますが、2つの学年で、図書室はいっぱいになり、他の教室も利用することもあります。すべての学年の児童が、学級部会が終わるまで、保護者を待つというのは、場所の面からも難しい状況です。
- ③→ 見守りシステムに関しては、現在、島原市教育委員会の方針として、島原市内の小学1・2年生および特別支援学級の児童が利用しています。児童の安全面や下校時刻の把握のためには大切な意見だとは思いますが、本校だけの実施は、今のところは難しいと考えています。教育委員会の方には、保護者からの要望があったことを伝えます。
なお、登下校の安全については、森岳「子どもを守る」安全運動協議会の方で、見守ってもらっています。また、下校時刻に関しては、毎月、学校から下校時刻のお知らせをしていますので、ご確認ください。
- ④→ 規約に次年度の役員・評議員をいつ決めるのかは明記されていませんが、内規に「学級編制がある学年においては、進級して早々に学級部会を開き、そこで決定する。」とあります。前年度に決めるのが不都合と言うご意見ですので、まずは、PTAの運営委員会に提案させていただきます。3学期最後の学級部会の前にはお知らせできると思います。ただし、新年度に最初から決めるのであれば、新しいクラス決定後の夜の部会には、多くの保護者に参加してもらわなければなりません。
ちなみに、来年度、クラス編制がある学年は現1年生、現2年生、現4年生の3学年になります。現3年生と現5年生に関しては、3学期最後の学級部会で、次年度の役員・評議員を決めてください。
- ⑤→ 第2校舎のトイレは、水はけが良くないために、水がたまることもあり、ご迷惑をおかけしました。再度、トイレの掃除の仕方を確認し、指導してまいります。